

厚生病院だより

# ほほえみ

広報誌

第77号

2021 7. 1

## Topics

- 副院長就任挨拶
- 事務長就任挨拶
- 献血のお知らせ
- 認定看護師の活躍「緩和ケア認定看護師」
- 「Newsweek」掲載報告
- The World's Best Hospitals 2021 選出



PHOTO : 中村 昌弘 「小中大滝」

基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170  
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



# 副院長就任挨拶

このたび、令和3年4月1日付けをもちまして、桐生厚生総合病院の副院長および地域医療連携室長を拝命いたしました曲澤聡と申します。この原稿を書くにあたり、その責任の重さをひしひしと感じているところです。皆様のこれまで以上のご支援、ご指導いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

私はこの桐生厚生総合病院（以後、厚生病院）で生まれました。また高校時代は気管支喘息を患い、厚生病院の内科外来に通院していました。（ちなみに、その時の主治医は、今も健診室に勤務されている福田玲子先生でした。）両親も厚生病院に入院歴があり、なにか重い病気や怪我をしたら厚生病院にかかるものだと思っていました。そして、約20年前に脳神経外科医として厚生病院に赴任してまいりました。脳梗塞やクモ膜下出血等の脳卒中や頭部外傷、脳腫瘍等の患者様が、少しでも症状がゼロに近づき社会復帰できること、あるいは自宅での生活が可能になることを目標に、診療にあたってまいりました。

さて、今回の新型コロナウイルス感染症の対応をみても、厚生病院が、桐生、みどり地域の中核病院としての重要な役割を担っていることは論をまちません。しかし、医療を取り巻く環境は依然として厳しい状態が続いています。この地域における年々進行する人口減少、少子高齢化、高齢者独居世帯増加や、厚生病院における医師不足等、多くの問題があります。厚生病院のみで、この地域の医療を完結することは不可能で、対応困難な症例の増加が想定されます。そのため、他の医療機関や療養介護施設等との円滑な協力体制を維持、強化していくことが、より重要と考えます。

これからも他施設との連携を深めつつ、桐生厚生総合病院が拠点病院としての役割を維持し、桐生、みどり地域の医療に貢献できるよう、努力して参りたいと思ひます。何卒宜しくお願ひ申し上げます。



副院長・脳神経外科

まがり さわ さとし  
曲澤 聡



副院長・外科

もり なが のぶ ひろ  
森 永 暢 浩

新型コロナウイルス感染症で闘病中の患者様ならびにご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族に謹んでお悔やみを申し上げます。

このたび、令和3年4月1日付けをもちまして、副院長を拝命いたしました森永暢浩と申します。外科診療体制が、群馬大学からの派遣に変わりました令和元年4月から勤務しております。初年度は、加藤病院長、木村外科部長と3名体制でありました。大幅な人員減でありましたが、各部署の協力により、緊急手術対応も含めて外科診療を維持することができました。現在は、一般消化器外科6名、乳腺外科1名となり、良性疾患から悪性疾患の高度がん治療まで、地域完結医療が提供できる体制となっております。

昨年4月からは、感染対策室長として、新型コロナウイルス感染症対策にあたりました。経験のない疾患に対して、病院職員が一丸となつての対応となりました。また、外来および入院患者様、ご家族様にも、来院時の体温チェック、問診票、面会制限など多くのご協力をいただきました。皆様のご協力により、院内クラスター発生などはなく、診療継続できており感謝いたしております。

コロナ感染拡大防止を実施するとともに、桐生・みどり地域の中核病院として急性期医療体制の維持が求められていると考えております。引き続き、皆様のご理解とご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



# 事務長就任挨拶

令和3年4月から事務長に就任しました。

私は、桐生市から平成29年4月から令和2年3月の3年間総務課長として当院に派遣となり、今回2回目の派遣で事務長という重責を担うこととなりました。

当院は、桐生地域における急性期医療の中核病院としての機能を継続して行くこと、さらには時代の趨勢<sup>すうせい</sup>に応じた病院対応が皆さんの期待に応えていくことと感じています。

院長をはじめ院長補佐、副院長を中心とする執行部、各診療部の部長、スタッフにおいては、この病院を良くしようと今まで以上に改革を進めております。この3か月、地域住民の命と健康を守るため、ひとつひとつスピード感を持って、医療スタッフが取り組んでいる姿勢には改めて驚いているところです。地域住民の皆さんにおかれましては、いろいろとご意見があろうかと思いますが、重点課題を選択しながら丁寧に着実に進めております。特に、新型コロナウイルス感染対策という前例にないことも対応しておりますので、関係機関の皆さんからのご支援、ご協力をいただきながら事務方ができることを取り組んでいきたいと考えております。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



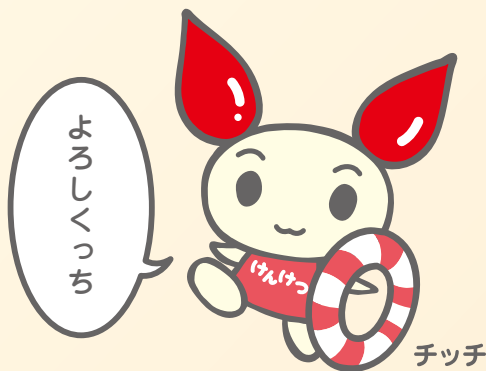
事務長

せき ぐち いく お  
関 口 郁 雄

## けん けつ 献血のお知らせ

毎年夏季は、長期休暇などにより学校や企業、団体などから献血へご協力が得にくくなります。一方で、輸血用血液製剤は長期保存ができないため、年間を通じて安定的に確保することが重要です。そのため、桐生厚生総合病院では毎年7月にも献血を実施しています。

いつでも、輸血を必要としている患者さんのために、血液をお届けできるよう、定期的な献血へのご協力をお願いいたします。



献血キャラクター

けんけつちゃん

日時 令和3年7月27日火

時間 13:30～16:30

### 新型コロナウイルスワクチンの 接種を受けられた方へ

献血は、新型コロナウイルスワクチンの接種から  
48時間が経過した後をお願いします。

※詳しくは日本赤十字社ホームページをご覧ください

[https://www.jrc.or.jp/donation/blood/news/2021/0428\\_017376.html](https://www.jrc.or.jp/donation/blood/news/2021/0428_017376.html)

# 認定看護師の活躍

い が ら し      ち よ こ  
緩和ケア認定看護師 五十嵐 千代子

## がん相談支援センターでの役割

桐生厚生総合病院はがん診療連携拠点病院の指定を受け、その指定要件である「がん相談支援センター」を病院1階の地域医療連携室内に設置しております。

当院のがん相談支援センターでは、がん専門看護師や緩和ケア認定看護師、公認心理師が、がん診療に関する一般的な医療の情報提供、セカンドオピニオンが受けられる医療機関の紹介、緩和ケアに関する相談、在宅療養に関する相談、就労相談、がんに関する医療費など幅広く対応しております。

日本では2人に1人が、がんにかかり、長年日本人の死因第1位を占めています。このように聞くと、「がんになったら大変!」と思われるかもしれません。また「がん」という言葉は「怖いもの」「治療が大変」「高額な医療費」などのイメージが連想され、病気のショックに加え、漠然とした先行きの不安を感じられる方が大半です。病気と向き合う中で大切なことは、適切な情報をもとに病気を正しく理解すること、主治医や医療スタッフとしっかりコミュニケーションを図ること、つらい気持ちや悩みを打ち明けられる存在がいることです。近年、テレビや新聞、インターネットなどから様々ながん情報を簡単に入手することができます。しかし情報の中には根拠に乏しい内容や営利目的が主体の治療が提供されていることもあります。患者さんやご家族が迷ったり、悩んだりすることも少なくありません。またつらい気持ちを誰にも話せず、1人で抱えてしまう方もいらっしゃいます。このような悩みを解決する手助けとして、疑問に答え、話を聞いてくれる「**がんの相談窓口**」の役割を果たしているのが、**がん相談支援センター**です。

当院のがん相談支援センターは、当院へ通院・入院されている患者さんやご家族だけではなく、**どなたからの相談にも予約不要・無料**で対応しております。また相談者のプライバシーに配慮し、匿名での相談も可能です。安心してご相談ください。

当院は、『信頼され、心が通う地域医療』と病院理念に掲げ、桐生・みどり地域のがん医療の中心的な役割を担い、地域住民の皆さまに質の高いがん医療を提供できるよう、日々の診療を行っております。その一端として皆様の心の負担が少しでも和らぐことができるよう支援させていただきますので、がん相談支援センターをぜひ活用してください。



左上:社会福祉士 藤生 斐子      右上:公認心理師 長谷川 自唯  
左下:五十嵐 千代子      右下:がん専門看護師 荒川 浩

〔連絡先〕 桐生厚生総合病院 相談支援センター  
〔電話〕 0277-44-7165  
〔メール〕 soudan01@kosei-hospital.kiryu.gunma.jp  
〔時間〕 8:45~17:30 (土・日・祝日・年末年始は除く)



# The World's Best Hospitals 2021 当院が選出されました!!

米国週刊誌「Newsweek」による、世界基準の優良な医療機関を評価したランキング「World's Best Hospitals 2021」の日本版に、全国8,237病院\*1の中から156位に選出されました。このランキングは世界25カ国を対象としており、評価は以下の3つの基準をもとに決定されています。

- 医療従事者からの評価：74,000名以上の医師、医療従事者、病院管理者へのオンライン調査の実施
- 患者からの評価：医療機関を受診した患者さんからの満足度評価
- 病院のKPI\*\*2：患者満足度、衛生管理の状況、治療の質等

当院は、「**信頼され、心が通う地域医療**」という理念を掲げ、地域の皆様に良い医療を提供するため、「現状維持は後退である」という気持ちで、既成概念や前例主義の打破に取り組んで参りました。これからも「受動的」でなく、「能動的」な改革を進めることができるような組織づくりを進めたいと考えております。

今後も職員一同、皆様のご期待にお応えできるよう迅速かつ丁寧な医療サポートを全力で実施して参ります。

※1 厚生労働省 医療施設動態調査（令和2年12月末概数）

※2 KPI：Key Performance Indicators（重要業績評価指標）の略で、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のことをいいます。



「今後も職員一同、皆様のご期待にお応えできるよう迅速かつ丁寧な医療サポートを全力で実施してまいります」  
病院長 加藤 広行

（※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。）